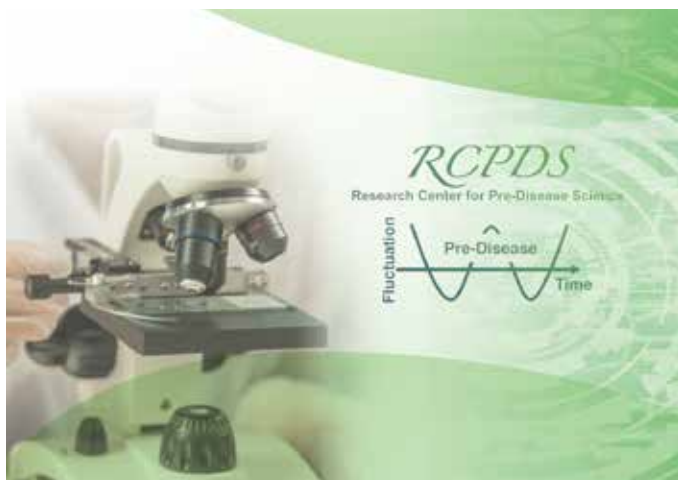


未病研究センター



未病研究センターは東洋医学の概念である「未病」をALL富山大学で多分野の叡智を集め解き明かし、健康社会に向けた「超早期での疾患予測・予防の実現」を目的に設置されました。

これまで富山大学は、医学部、薬学部、附属病院及び和漢医薬学総合研究所が一体となって、21世紀COEプログラムなどを通して、東西医薬学の融合を実践してきました。これは現在、複雑系数理学の導入による「未病」の科学的実証を目的とする「未病プロジェクト」に受け継がれています。研究のさらなる発展のため未病研究センターを設立し、以下の3点を中心に未病研究お

よび未病医療を推進して、新たな医療システムを社会に提示し社会実装を目指します。さらに、2021年からは、内閣府・JSTの大型研究開発事業「ムーンショット型研究開発事業」の目標2「2050年までに超早期疾患の予測・予防をすることが出来る社会を実現」に参画し、取り組みを加速化させています。

- ・現代医療ニーズにマッチした最先端の医療戦略（創薬・ヘルスケア、臨床検査・医工学、疫学）の構築
- ・薬都・富山発の健康政策（未病を治療する新しい医療の創出）の提言
- ・科学知への翻訳としての「未病学」の確立

ダイバーシティ推進センター



Center for Diversity, Equity and Inclusion
University of Toyama

富山大学
ダイバーシティ推進センター

本学はSDGsの目標でもあるジェンダー平等をより一層推し進め、性別、性的指向と性自認（略称SOGI）、障がいの有無、年齢、文化、宗教、信条、国籍などの多様性を尊重し、それぞれが自らの能力を発揮し、皆が生き生きと活躍できる教育・研究・職場環境づくりを進めています。

ダイバーシティ推進センターは、男女共同参画の推進、ワーク・ライフ・バランスの向上、多様な人材の包摂等に向けた様々な支援や啓発活動を行っています。